

若手能鑑賞のための 入門講座

能の台本を「謡本（うたいぼん）」といいます。
謡曲「海士（あま）」の解説を聞き、
謡本の一部をみんなで読んでみます。

城東区は能の祖、榎並猿樂の発祥の地です。
地域ゆかりの伝統芸能にふれてみませんか？

■日時：平成 29 年
10 月 28 日(土)
14 時～15 時

■場所：大阪市立城東図書館 多目的室

■講師：水田 雄悟（みずた ゆうご）氏
観世流シテ方

■定員：当日先着 40 名 **参加無料**

図版は引札『宝船の図』
大阪市立図書館デジタルアーカイブ
より一部改編

謡 本 を よ む

『海士（あま）』について

海士（海人とも）。能の曲目。五番目物。

大臣藤原房前は、亡き母追善のために讃岐の志度を訪れる。来かかった海人に尋ねると、母の死の経緯を知っていた。かつて唐土から送られた宝珠が、竜神に奪われた。

わざわざこの地まで来た藤原淡海は、契りを交わした海人に宝珠の奪還を命じ、生まれた子を跡継ぎにすると約束した。海人は、海底にくぐり、宝珠を盗み、乳の下を切り裂いて珠を押し込めて戻ったと語り、自分が大臣房前の母、海人の亡霊だと告げて海中へ消えた。

房前が吊うと、母の霊は成仏を喜んで法華経を手にした竜女の姿となって現れ、経文を唱え、舞を舞う。

参考文献：「日本大百科全書」/小学館 「新版 能・狂言事典」/平凡社

■主催・お問い合わせ 大阪市立城東図書館



電話 (06)6933-0350

〒536-0005 大阪市城東区中央 3-5-45

<http://www.oml.city.osaka.lg.jp>

城東図書館のページは、

トップページ右側のリンクからご覧いただけます。

